

●新刊のご案内

近代の記憶 民俗の変容と消滅 [2019年1月下旬刊]

野本寛一 [近畿大学名誉教授/日本民俗学] =著

◎四六判上製 / 400頁 / 本体 3400円 / ISBN978-4-909544-02-5 C0039

日本が失ってしまったもの

高度経済成長がもたらした社会変容によって、日本人の生活と価値観は大きく変わった。日本人が、それまで守り、また多大な恩恵を受けてきた「民俗」は、衰退・消滅を余儀なくされることになる。

最後の木地師が送った人生、電気がもたらした感動と変化、戦争にまつわる悲しい民俗、山の民俗の象徴であるイロリの消滅など、人びとの記憶に眠るそれらの事象を、忘却の波からすくいだし、記録として甦らせる。高度経済成長期の末期から現在に至るまで、半世紀近く日本を歩き続けた民俗学者が聞き取った、失われた民俗の記憶。

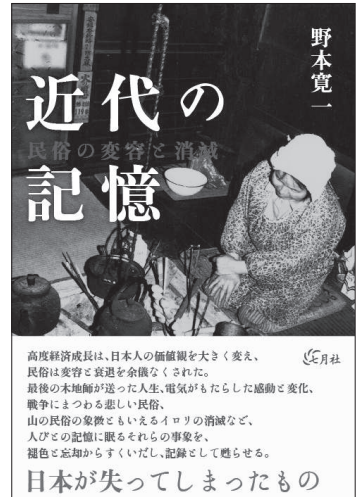
●主要目次

- | | |
|-----------------|----------------|
| 序章 ムラびとの語りを紡ぐ | II イロリとその民俗の消滅 |
| I 消えゆく民俗の記憶 | 5章 イロリのあらまし |
| 1章 木地師の終焉と膳椀の行方 | 6章 イロリの垂直性 |
| 2章 電灯の点った日 | 7章 イロリと信仰 |
| 3章 山のムラ・生業複合の変容 | 8章 イロリもろもろ |
| 4章 戦争と連動した民俗 | 9章 イロリ消滅からの思索 |

イロリなど、昭和の懐かしい写真を100点以上掲載

●版元より、書店の皆様へ

現役の民俗学者で、だれよりも長く、多くのフィールドを歩いてきた著者。その足跡に赤線を引くと、日本地図が真っ赤になってしまうとも言われます。本書では、北海道から沖縄まで、1970年代から現代までの間に聞き取った、失われた民俗の話（団塊の世代以上の方々にとっては、懐かしいものが多いと思います）が展開されます。話者は主に明治・大正・昭和初期の生まれの古老たち。秘されて語られてこなかった徴兵逃れの祈願の話など、戦争関連のものも重く響きます。II部で大量の写真とともに語られる、イロリに関する記憶は圧巻です。



株式会社 七月社

☎182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 電話 / FAX : 042-455-1385

帳合・番線 注文数 冊	発行：七月社 電話：042-455-1385
	野本寛一=著 近代の記憶 民俗の変容と消滅 四六判上製 / 400頁 / 本体 3400円 / ISBN978-4-909544-02-5 C0039

ご注文は JRC へ / FAX 03-3294-2177

* 返品条件付き注文扱い
* JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です